

2025年1月12日（日）第二礼拝 「ヤハウエ・ニシ」出エジプト 17章8～16節

神様の名前は、ヤハウエです。しかし、ユダヤ人たちは神様を恐れて、ヤハウエと呼ぶことができず、主(アドナイ)と呼びました。「アドナイ・ニシ」とは、勝利の主、勝利の旗という意味です。出エジプトしたイスラエルは、アマレクと戦い、主にあって勝利しました。

第一番目、手を上げる祈りです。「モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった。」(出エジプト 17:11)「手を上げる祈り」とは、悔い改める祈り、主の前で降伏する祈りを意味します。イスラエルはシンの荒野から旅立ち、レフィディムに到着しました。そこには水が無く、民はモーセと争いました。そのような時にアマレクが現れたのです。アマレクは戦いに優れた者たちでしたが、イスラエルには戦力がありませんでした。彼らは主を試みたことを悔い改め、アマレクと戦う力が無いことを認めて、主に憐みを求めました。自分を頼みにせず、主に頼ることが、「手を上げる祈り」です。主だけが強いアマレクに打ち勝つことのできるお方です。このアマレクとは、サタンであり、罪、憎しみ、病気、呪い、死、世代間に傷を与えるものです。私たちが不平不満を言う時、これらのアマレクが襲ってきます。しかし、私たちが悔い改め、主に憐みを求めて祈る時、主がアマレクと戦ってくださり、勝利を与えてくださいます。

第二番目、祈りのパートナーです。「…アロンとフルは、ひとりはこちら側、ひとりはこちら側から、モーセの手を支えた。…」(出エジプト 17:12) アロンとフルは、モーセが手を降ろすことがないように支えました。ビリーグラハム師の聖会で、救いの決心する人々が、二階席から走って降りて来るのを見ました。シンプルな説教で、何故これほどの救いが起こるのか不思議でしたが、その秘訣は、毎日五千名以上の人々がビリーグラハム師のために、とりなし祈っているということでした。まさに、これが勝利の秘訣、アロンとフルの祈りの支えです。イエス様も、変貌山やゲッセマネの祈りの時、ペテロとヨハネとヤコブを連れて行き、祈りを要請されました。パウロも、手紙の中で自分のために祈りを要請しました。私自身、カザフスタンで体調不良になった時、教会の兄弟姉妹の祈りに支えられ、祈りの力を実感しました。戦いの最前線にある時、アロンとフルのような祈りの支えがとても大切です。それぞれの御家庭も、日本全体もとりなしの祈りによってリバイバルすることを信じます。

第三番目、主は代々にわたってアマレクと戦われます。アマレクはサタンです。サタンは真理に逆らい、人々に嘘を吹き込み、神様の御心を悟らせないようにし、卑劣な方法を使って、弱者を後方から攻撃します。そして、世代間を分裂させ、あらゆる団体、政界に入り込み、不満を抱かせ、分派や争いを起こす者たちです。しかし、神様は代々にわたってこのアマレクと戦ってくださいます。父なる神様の御心は、私たちが真理を知り、罪が赦されて自由になり、すべての点で祝福され、癒され、増え広がり、主にあって一つとなることです。私たちは真理である主の御言葉を信じて、豊かにいのちを得る者とされましょう。「…あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」(ヨハネ 8:32) アーメン！